

〔小笠原諸島固有種等遺伝資源の保護〕
小笠原固有植物等の病虫害防除技術の確立
～固有植物等の病害発生状況の把握～
小野 剛

【要 約】小笠原固有植物 12 科 13 種の植物に 14 の病害を確認した。そのうち、過去に記録のない 10 の新たな病害を見出した。

【目 的】

小笠原の貴重な植物の遺伝資源を守るため各機関によって保護、増殖活動が行なわれているが、生育阻害要因としての病虫害に関する知見は数少ない。そこで、本年度は野外および栽培中の固有種等植物に発生する病害を調査し、発生状況等を把握した。

【方 法】

島内各地で発生した病害を採集し、発生状況や病徴を記録した。常法に従って病原菌の分離をし、分離菌を接種した。病原性が確認できたものに関しては、光学顕微鏡を用いた形態観察や培養性状の調査を行い病原菌の同定を行なった。

【成果の概要】

これまでに小笠原固有植物には正式な病名の記載が無いものも含めて 20 科 28 種の植物に 37 の病害が記録されているが、今回は 12 科 13 種の植物に 14 の病害を確認した(表 1)。そのうち、過去に記録のない 10 の新たな病害を見出した。そのうち、少なくとも属レベルまで病原菌が同定できた 8 つの病害に関して、いずれも病名は仮称で以下に報告する。

- 1) シマギョクシンカ ペスタロチア病(図 2): 葉に黄色のハローを伴う円形の病斑を形成する。病原菌を *Pestalotiopsis* sp. と同定。父島の野外で発生。
- 2) オオハマギキョウ株枯病(図 3): 株元にくもの巣状の菌糸を生じ、地上部を軟化枯死させる。病原菌を *Rhizoctonia solani* と同定。父島の増殖圃で発生。
- 3) オオハマギキョウ花腐病(図 4): 花に発生。花器を軟化腐敗させる。病原菌を *Rhizopus* sp. と同定。父島の増殖圃で発生。
- 4) ユズリハワダン菌核病(図 5): 株元に発生。枯死させる。鼠糞状の菌核を形成。病原菌を *Sclerotinia sclerotiorum* と同定。展示温室内で発生。
- 5) ヤロード炭疽病(図 6): 葉および果実に斑点性の病害を生じる。病原菌を *Colletotrichum gloeosporioides* と同定。父島の野外で発生。
- 6) ムニンノボタン ペスタロチア病(図 8): 葉に斑点を生じ、病斑中央部は灰白色を呈する。病原菌を *Pestalotiopsis* sp. と同定。父島の野外(植栽地)で発生。
- 7) シマムロ ペスタロチア病(図 9): 葉を灰褐色に枯死させる。病原菌を *Pestalotiopsis neglecta* と同定。父島全域で発生。
- 8) オガサワラリュウビンタイ白絹病(図 10): 株元に菌糸が密生し、枯死させる。ナタネ状の菌核を大量に形成。病原菌を *Sclerotium rolfsii* と同定。展示温室内に発生。

表1 今回の調査で確認した小笠原固有植物に発生した植物病害

宿主科名	宿主名	病原菌学名	病名	採集場所	備考
アカネ	オガサワラクチナシ	未同定	^a さび病(仮称)	母島	図1
	シマギョクシンカ	<i>Pestalotiopsis</i> sp.	アスタロチア病(仮称)	父島	図2
ウコギ	ムニンヤツデ	<i>Meliola fatsiae</i>	すす病	父島	
キキョウ	オオハマギキョウ	<i>Rhizoctonia solani</i>	株枯病(仮称)	父島	図3
		<i>Rhizopus</i> sp.	花腐病(仮称)	父島	図4
キク	ユズリハワダン	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	菌核病(仮称)	父島	図5
キョウチクトウ	ヤロード	<i>Colletotrichum gloeosporioides</i>	炭疽病(仮称)	父島	図6
グミ	オガサワラグミ	<i>Aecidium elaeagni</i>	さび病	父島	
クワ	オガサワラグワ	<i>Cercospora moricola</i>	褐斑落葉病	母島	
クワ	トキワイヌビワ	未同定	斑点病(仮称)	父島	図7
ノボタン	ムニンノボタン	<i>Pestalotiopsis</i> sp.	アスタロチア病(仮称)	父島	図8
ヒノキ	シマムロ	<i>Pestalotiopsis neglecta</i>	アスタロチア病(仮称)	父島	図9
ヤシ	オガサワラビロウ	<i>Meliola livistonae</i> var. <i>boninensis</i>	すす病	父島, 母島	
リュウビソウ	オガサワラリュウビソウ	<i>Sclerotium rolfsii</i>	白絹病(仮称)	父島	図10

a) : 今回の調査で新たに発見した病害



図1 オガサワラクチナシさび病



図2 シマギョクシンカアスタロチア病



図3 オオハマギキョウ株枯病



図4 オオハマギキョウ花腐病



図5 ユズリハワダン菌核病



図6 ヤロード炭疽病



図7 トキワイヌビワ斑点病



図8 ムニンノボタンアスタロチア病



図9 シマムロアスタロチア病



図10 オガサワラリュウビソウ白絹病